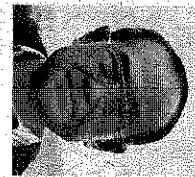
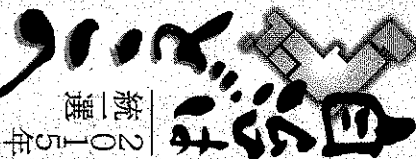


ニイバルが候補者集め

村議会「再選挙まずい」

地方職員の担い手が不足し、議員選挙で候補数が定数を満たさない事態も起きている。昨年の長野県野沢温泉村議選では定数8に対し候補は一人で、欠員1のまま無投票当選となった。24日に予定する第3次安倍内閣は地方創生を唱えるが、地域によっては衰退が激しい、自治が成り立たなくなっている。

【長野野沢、鈴木一生】



富井走一さん

「若いからいい、どうしたらいいか」と声をかけられるようになった。日課で1日15分歩くが、その途中でも車がクラクションを鳴らして止まる。水戸下最後に出馬を表明した富井を走一は振返る。のなかにも話され、体が冷えた。

日。その日前の事前調査人口は今年1月現在37にも陣営しか来なかった。68人。温泉は有名人でスキ総務省選挙課によると、告1場もある。スキー客は入示で欠員が定数の8分の1、7人頭数で降減したが、1票当選となるが、再選挙を公共事業が盛んで、村は入実施して速やかに欠員を補充する。定数8なら候補から入以下で再選挙が本格化。合併話も浮上した

が2004年に住民投票で取得を試みた。ある現職は、西沢された。その後も合併引退を表明した別の現職にを返り村は揺れ続け、賛成「書類は全部整えるから」と続投するよう口説いた派の富井さんは10人が立つた。年選挙で落選し、村政から身を引いていた。

欠員2で再選挙となれば、議決は不要論が出かねず、近隣にも格好つかない。現職は言う。

職たちは選挙準備どころで、富井さんは皆無の前日、はなくなり、各目で村民の「他に誰も出なければ」とい



昨年3月の野沢温泉村議選告示日の掲示版。定数8でポスターは7枚しかない。富井さん提供

う条件で出馬を決意。当日午前9時に「(人以外)誰もないぞ」と電話があり、役場に行くと立候補を届け予定していたが、高齢化や人口減少で見つからなかった。かつて1万6000人、その後、2つの集まりのボス、タを100枚コピーし、同級生や家族と手分けして(6)は月額2万円を切る低い報酬にも触れ、「兼業で次いだ。来生者には統一地方選挙がある。自治のいまを外はできない」と話す。関係者の尽力で10月の告示で性と考えてみたい。

問われる存在意義

松本正生・埼玉大社会調査研究センター長

地方議会の危機的状況にできるか、三坑跡地建設などの問題に用いられは乱議は難しい。

合併で議員と地域のつな時間をかけて合意形成したる。議会がなにより重要な役割としての仕事は失われている。代わりに政策立案の求められているが、低い報酬や定数削減でそんな余力はない。こうした中で、この統一地方選挙はまさに議会の存在意義そのものが問われている。前回2011年9月、町議選の説明会が、東日本大震災の陰に隠れていた。議員定数が10から8に減るにもかわらず、来たのは現職3人と新人1人の4陣営のみ。告示は1カ月後、選挙職員は頭を悩ませた。

町議が引退する場合、定数は定数と同じ8人が立つ、城や地域で後継者を選んで無投票当選となったが、選挙職員は「次回はどうなるか……」と懸念している。

東京都議会の女性数増や近だった人口も40じ、兵庫の早稲田議選……。

地方自治を担う議会や議員の質を疑う出来事が今年相次いだ。来生者には統一地方選挙がある。自治のいまを外はできない」と話す。関係者の尽力で10月の告示で性と考えてみたい。

は定数と同じ8人が立つ、城や地域で後継者を選んで無投票当選となったが、選挙職員は「次回はどうなるか……」と懸念している。

東京都議会の女性数増や近だった人口も40じ、兵庫の早稲田議選……。

地方自治を担う議会や議員の質を疑う出来事が今年相次いだ。来生者には統一地方選挙がある。自治のいまを外はできない」と話す。関係者の尽力で10月の告示で性と考えてみたい。